

吃音のある方への Paletteの取り組みについて

吃音については、明確な原因は特定されておらず「治る」という根拠のある治療法が見つかっていないのが現状です。

Paletteでは、吃音のある方々が、ありのままの自分に自信をもって、地域で生活しやすいように、その方のライフステージに合わせて様々なアプローチを行っています。

幼児期は、本人がのびのびと安心して生活できるような「環境づくり」が大切です。保護者や所属している園からの相談をお受けして、かかわり方の工夫をお伝えしたり、必要があれば吃音についてご説明に伺ったりしています。

学童期は、学校やPaletteで本人へのアプローチを行っています。吃音についての知識を学んだり、吃音の出てく話し方を試してみたり、毎日の生活での困りごとや心配ごとの対処法について、一緒に考えたりしています。

言語聴覚士 川上幸
池田あゆみ
中西理彩子

本人の思いをじっくりきいて尊重すること、家庭や学校等の関連機関と連携をとって一緒に考えていくことが大切だと感じています。

同じ程度の吃音の症状でも、周囲の反応や態度によって、本人が抱える問題の大きさは変わってきます。吃音についてみんなが知り、理解し、吃音が何も特別なことではないという環境であれば、安心して自己表現をしながら、のびのびと生活することができます。

来年度 Palette は、吃音について地域の方とお話しできる機会をもっと増やしたいと考えています。そして、吃音について正しく知り、理解し応援して下さるサポーターの方々を、地域にたくさん増やしていきたいと思っています。

「幸せ」

ぼくは、きつ音という障がいがあります

ぼくが言葉が出にくい時

代わりに言ってくれる友達がいます

ぼくのきつ音を理解してくれる先生がいます

いつもぼくを支えてくれる家族がいます

だから、きつ音でも

僕は幸せです



ゆうき (小6)

第16回愛媛県小学生人権メッセージコンテスト
最優秀賞(松山地方法務局長賞) 作品から抜粋

子ども若者発達支援センター会報

パレット・レター - 発行 -

四国中央市子ども若者発達支援センター

TEL 0896-28-6029 FAX 0896-28-6030

palette@city.shikokuchuo.ehime.jp



パレット・レターは「子ども若者発達支援センター」からのお知らせです。

2020年3月6日発行

Palette またはパレット・レターに関するお問合せは上記まで。
パレット・レターの表紙になってくれるお子さんを募集します。
ご協力いただける方は、Paletteの職員または上記までご連絡ください。

interview

名前 | ゆうき
 年齢 | 小学6年生
 好きな食べ物 | チャーハン
 好きなTV番組 | アメトーク、ワンピース
 好きな音楽 | 菅田将暉「まちがいがし」
 好きな本 | スラムダンク、タッチ
 好きなアニメ | ポケットモンスター



吃音について

池田 手紙には話し方のアドバイスが書かれてたんだよね。

ゆうき なるほどと思いました。あと、身近にも吃音の人がいるんだなと思いました。

池田 ゆうき君は自分以外で吃音がある人に、あまり会ったことがないんだね。会って話を聞いてみたいと思う？

ゆうき 話し方のコツとか聞いてみたいです。

池田 多分、ゆうき君からアドバイスをもらいたいと思ってる人もいると思うよ。

表彰式について

池田 表彰式で自分のメッセージを読み上げるゆうき君を見せてもらっただよ。表彰式に出ることはすぐに決めたの？

ゆうき ちょっと考えました。お母さんにも相談しました。でも、みんなに知ってほしいし、こんなことはもうないかもしれないと思って、出ること決めました。

池田 表彰式に出るってゆうき君から聞いた時、すごく嬉しかったよ。

吃音について

池田 最初に自分の吃音のこと、話し難さを意識したのはいつ頃か覚えている？

ゆうき 年長の時に友達から「どうしてそんな話し方なの」って言われた時だと思います。

池田 その頃に相談に来てくれて、吃音教室に通うことになったんだよね。

ゆうき はい。

Paletteについて

池田 当時、吃音教室でどんなことをしたか覚えてる？

ゆうき 年長の時のことは覚えてないけど、小1からは音読練習や先生

音読練習

Paletteの音読練習では、①やわらかい声で②ゆっくり③相手にあわせての3つを確認したうえで、教科書などを、1回目は全文を言語聴覚士と一緒に、2回目は最初の一句だけを一緒に、そして3回目は一人で全文を読むといったことをしています。

Paletteでは、言語聴覚士による吃音教室を行っています。吃音とは、言いたい言葉は頭に浮かんでいるのに、ことばの最初のタイミングが合わず、スムーズに言えない症状のことです。

今回、Paletteの吃音教室に通っているゆうきくん(小6)が、表紙のメッセージで「第16回愛媛県小学生人権メッセージコンテスト」で最優秀賞(松山地方法務局長賞)を受賞されましたので、インタビューさせていただきました。

メッセージについて

池田 最優秀賞おめでとう。すごく良いメッセージだね。このメッセージを書こうと思ったきっかけを教えてください。

ゆうき 夏休みの宿題で、4年生以上はみんな書くことになっていて、吃音がある子の事をみんなに知ってほしいと思って書きました。

池田 「幸せ」っていうタイトルも素敵だね。

ゆうき タイトルは最初に決めました。

と一緒に遊んだりしました

池田 ゆうき君にとってPaletteはどんなところ？

ゆうき 言いやすくする方法を、一緒に考えたりするところかな。

池田 通ってみてどうだった？

ゆうき 吃音のことを勉強して、どうしたら楽に言えたりするかを一緒に考えてくれるので、通って良かったです。面倒だと思ったことはないです。

池田 ありがとう。吃音教室では、毎回最初に1週間分の「楽しいこと」「嫌だった辛いこと」「学校の授業や発表のこと」「相談したいこと」を聞いたり話したりしてるけど、あまりツライことや相談したいことは話に出ないよね。吃音でツライ思いをしたことはある？

ゆうき 1年生の時に、全校生徒の前で発表した時に、吃音を笑われた時はツラかったけど、今はあまりないです。

池田 今はみんな分かってくれてるんだね。相談したいことはどうしてるのかな？

ゆうき スイミングの友達やお母さんに相談してます。

池田 メッセージを書くことを家族には話した？

ゆうき 応援してくれました。お母さんは「いいんじゃない？」って。

池田 入賞したって聞いたときどんな気持ちだった？

ゆうき びっくりしました。

池田 お母さんやクラスの友達はどうな反応だった？

ゆうき お母さんは喜んでくれました。クラスの友達はいつも通りでした。

池田 クラスの友達は、ゆうき君の吃音を「普通のこと」と思ってくれてるんだよね。

ゆうき はい。

ファンレターについて

池田 新聞に載ったゆうき君のメッセージを見た吃音のある人から、手紙をもらったんだよね。

ゆうき まさか手紙をもらえとは思ってませんでした。

池田 お返事はもう書いた？

ゆうき 書きたいとは思ってるけど、あまり手紙を書くことがないので、まだ書いてません。

中学校について

池田 もうすぐ中学生だけど、楽しみ？

ゆうき 自己紹介とか不安もあるけど、部活もあるので楽しみです。

池田 部活はもう決めてるの？

ゆうき 水泳部か陸上部で迷ってます。

池田 運動得意だもんね。マラソン大会も1位だったし。勉強は好き？

ゆうき 算数と理科が好きです。

池田 将来どんな事をした？

ゆうき 検討中です。したい事はあがるけど、難しいので。

メッセージ

池田 吃音で悩んでいる他の子たちにメッセージはある？

ゆうき ぼくは吃音のことを「障がい」ではなくて、ただの「不得意」だと思っているので、あまり気にしなくていいと思います。

池田 ありがとう。

